

今回の開催結果

平成 29 年 3 月 28 日（火） 14：00～15：30

テーマ：「薬についてのよ・も・や・ま話」「災害に役立つお薬手帳」「賢く選ぼうジェネリック医薬品」など

講師：一宮市立市民病院 薬剤局 主査 渡部 誠康

内容：パワーポイントによる講義

参加者： 38 名

講演要旨：前はちょうど 3 年前に「意外と知らない!? ちょっと気になる薬の話」と題して、基本的な薬の使用方法とよくある質問や子供への薬の飲ませ方、妊婦・授乳婦と薬について、漢方薬や最近話題の「ジェネリック医薬品」についてや、先の東日本大震災でも非常に役に立ったとの報告が多く寄せられ、国を挙げて積極的に活用して行こうとしている「お薬手帳」についてお話させていただきました。

あわせて、私たち「病院薬剤師」が普段どんなことをしているのかを知っていただき、薬の使用に薬剤師が多くサポートしている事、そして薬剤師が患者さんたちに少しでも良くなって頂く為に医薬品を適正に使用していただける様に努めている事をお話しさせていただきました。

今回はその内容に修正を加え、特に「知ってはいるけど・・・実はよく判らない」ジェネリック医薬品や、前回の健康教室の後に起こった「熊本地震」でのお薬手帳の重要性などについてはできる限りわかりやすくお話させていただきました。

クスリ・・・裏返せばリスクとなります。くすりを正しく使って皆さんが少しでも健康に過ごせるようにお手伝いするのが我々薬剤師の仕事です。その熱い思い・・・情熱を感じ取っていただけたらと思っています。これからもあなたの健康を維持して行く為に、上手に薬と・・・そして薬剤師とお付き合い下さい。

